| 科目ナンバリング | U-LAS70 10001 SJ50 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | ILASセミナー ：神経心理学<br>ILAS Seminar :Neuropsychology | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 人間・環境学研究科 教授　　月浦　崇 | | |
| 群 | 少人数群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | ゼミナール（対面授業科目） |
| 開講年度・<br>開講期 | 2026・前期 | 受講定員<br>(1回生定員) | 25 (15) 人 | 配当学年 | 主として1回生 | 対象学生 | 全学向 |
| 曜時限 | 月5 | 教室 | 総人1207 | | | 使用言語 | 日本語 |
| キーワード | 認知脳科学関連 / 高次脳機能 / 言語 / 視知覚 / 記憶 | | | | | | |

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

**[授業の概要・目的]**

脳の様々な疾患によってヒトの脳が損傷されると，様々なタイプの高次脳機能障害が起こる．伝統的な神経心理学では，このような脳損傷患者が示す高次脳機能障害の積み重ねから，脳からこころがどのように生起してくるのかの理論を構築してきた．そして，このような伝統的な神経心理学の理論は，近年の脳機能計測による認知神経科学の考え方にも大きな影響を与えている．本ILASセミナー：神経心理学では，神経心理学がどのように脳とこころの関係性を理解しようとしているのか，そしてそれが人間そのものの理解にどのようにつながっているのかを考えることをめざす。

**[到達目標]**

・脳の疾患によって起こる様々な高次脳機能の障害についての臨床的観点からの知識を習得する．
・ヒトのさまざまな認知機能が脳を媒体としてどのように表現されているのかについての理解を深める．
・専門的内容の書物を読んでその内容をプレゼンすることで，プレゼンテーションの基本的素養を習得する．
・脳を介して心の働きを客観的に理解することを通じて，自らを客観的にみつめる力を体得する．

**[授業計画と内容]**

本ILASセミナー：神経心理学では，脳損傷患者を対象とした神経心理学に関するテキストを素材にし，それぞれの担当者がテキストの章ごとにその内容をプレゼンし，それについて受講生皆で議論を行う．本セミナーを通して，神経心理学や認知神経科学が脳とこころの関係をどのように理解しようとし，それが人間の理解にどのようにつながっていく可能性があるのかを体得したい．

本セミナーで扱う内容は以下のとおり．各章ごとに２回～３回の授業を行う．内容や順番は目安であり，変更する可能性があります．なお，授業回数はフィードバックを含め全15回です．

１．ガイダンス：脳と心の関係
２．言語の世界
３．知覚の世界
４．記憶の世界
５．心の形

フィードバック方法は別途連絡します。

**[履修要件]**

履修希望者は，全学共通科目の講義科目の『神経心理学Ⅰ』または『神経心理学Ⅱ』を受講中であることが望ましい（総合人間学部と文学部の専門科目である同一科目も含む）．なお，総合人間学部の学生は別途選抜を行うので，総合人間学部のシラバスを確認すること．受講希望者は，初回に

ILASセミナー ：神経心理学(2)へ続く↓↓↓

**ILASセミナー　：神経心理学(2)**

担当日の調整をするので，必ず初回の授業に出席すること．

**[成績評価の方法・観点]**

出席と参加の状況（約60%）と発表内容（約40%）で評価する．ディスカッションへの参加の積極性も加味することがある．

**[教科書]**

山鳥　重『脳からみた心』（角川ソフィア文庫）ISBN:9784044052195
本ゼミナールでは，この教科書を購入していることを前提に進めます．原則的に購入をお願いします．

**[参考書等]**

（参考書）
石合純夫『高次脳機能障害学（第３版）』（医歯薬出版，2022年）ISBN:9784263266519
河村満・高橋伸佳『高次脳機能障害の症候辞典』（医歯薬出版，2009年）ISBN:9784263213315
松田実『初学者のための神経心理学入門』（新興医学出版社，2022年）ISBN:9784880029160

**[授業外学修（予習・復習）等]**

授業の前までに，その日に授業で扱う単元の内容を読んでおき，質問したい内容を想定しておくこと．

**[その他（オフィスアワー等）]**

オフィスアワーについては，KULASISを参照のこと．

**[主要授業科目（学部・学科名）]**